

豊かな自然に四季のかわりと舟唄のこだまする村をつくらう

山形県 戸沢村

とざわくら 議会だより

はっせー！



古口 A

2p 6月定例会 補正予算 **1,500万円を可決** 総額41億500万円に

3p **人事案件** 戸沢村広報常任委員会研修会報告

4p~6p **村政を問い直す!** 保育所児童の安全対策は……2議員登壇

7p **常任委員会報告** 総務文教常任委員会報告・産業建設常任委員会報告

8p 議会要望活動が実を結ぶ 最上峡さくら回廊づくり 議会日誌(4月~6月)

9p **TOZAWAツーリズム協議会ボランティア下刈り作業**

10p 花嫁さんに乾杯 進藤 宏嗣さん&麻紀さん夫婦 (津谷)

2019 No. **132**

2019年6月定例会

今定例会における条例の制定及び改正について

議第	設定・改正	条例内容	提案理由	採決
34号	改正	戸沢村特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律及び公職選挙法の一部改正に伴い、特別職の職員の報酬を改正するため。	可決
35号	改正	戸沢村税条例の一部を改正する条例	地方税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、税条例の一部を改正する。	可決
36号	改正	戸沢村介護保険条例の一部を改正する条例	令和元年10月1日に予定されている消費税及び地方消費税の引き上げへの対応として低所得者の介護保険料をより一層軽減する措置を講ずるため。	可決

6月定例会
6/5~6/7

補正予算
1,500万円を可決
総額41億500万円に

6月定例会は5日から7日までの3日間の会期で行われた。今定例会では、補正予算、条例改正3件、監査委員並びに固定資産評価審査委員の人事案件等、全6議案を可決した。

一般質問には2議員が登壇し、高齢ドライバーにより園児が犠牲となる痛ましい事故が発生した中で、保育所入所児童の幼児送迎や屋外活動における安全対策と、高齢化対策の視点より、地域支え合いボランティア、運転免許証返納状況、現状の村営バス事業を含めた交通弱者対策について今後の考え方を問い、議論を展開した。

一般会計補正予算(第1号)概要

主な歳入		主な歳出	
今回の補正は、消費税引上げに伴うプレミアム商品券発行等に係る経費と道路改良及び橋梁維持に伴う補償費さらに、小学校社会科副読本制作に対する予算計上が行われた。	農林水産業県補助金 △59万2千円	社会保障・税番号制度システム整備業務委託 115万1千円	橋梁維持事業費 122万円
観光費国庫補助金 40万円	農工費県補助金 900万円	商工業振興事業費 907万円	高屋橋撤去に伴う電力柱の移設補償 150万円
最上・庄内広域周遊ルート滞在コンテンツ事業	前年度繰越金 616万7千円	観光振興事業費 55万円	小学校教育振興事業費 150万円
	補正予算財源へ充当	道路建設事業費 151万3千円	社会科副読本制作委託 150万円
		津谷停車場線道路改良工事の光ケーブル移設補償	

人事案件

監査委員の
選任に同意

青柳 孝一氏
住所 蔵岡
任期 令和5年6月30日

固定資産評価審査
委員の選任に同意

富澤 安雄氏
住所 向名高
任期 令和4年8月9日

戸沢村広報常任委員会研修会報告

令和元年5月31日、国際交流プラザにおいて、町村議会広報研修会が行われ、広報委員全員が参加しました。

講師に議会広報サポーターの芳野政明氏を迎え、効果ある議会だよりの編集や、住民に広く愛され読まれる「議会だより」作りのポイントを、熱心に講演いただき、大変、勉強になりました。

私達、広報委員も、議会だよりの内容の充実、レイアウトや写真の活用等、読者の目線で編集に取り組んでいきたいと思っております。

広報副委員長 田中 奨

議長杯ゲートボール大会

6月18日(火)議長杯ゲートボール大会が、ほんぼ館ゲートボール場にて開催されました。村内各地区から出場した選手と議会議員が、なごやかな中で試合が繰り広げられました。大会の結果は以下のとおりです。

- 1位 津谷チーム
- 2位 角川Bチーム
- 3位 角川Aチーム



議長杯ゲートボール大会



広報常任委員会研修会

主な補正内容(歳出)	補正額	備考
総務費	115万1,000円	
農林水産費	20万6,000円	農業費 115万1,000円/林業費 △52万6,000円
商工費	962万円	
土木費	273万3,000円	
教育費	156万6,000円	
予備費	△33万円	
計	1,500万円	

★令和元年度 戸沢村一般会計補正予算(第1号)

一般質問



加藤政一 議員

問 保育所入所児童のバス送迎や、屋外活動での安全対策について伺います。

村長 戸沢保育所の安全対策で、以前から指摘されている園児バスのシートベルトについては、道路運送車両法で義務化されていないため装着していません。理由の一つに、いざ車外に逃げなければならぬ時に、3歳程度の力ではシートベルトを外すことが出来ない可能性があることです。

二点目として園児に体格差があり、乗り降りのたび

シートベルトの調節に時間を要し、通所時間が多くなってしまう。更に座席幅が狭く、座席から大きく動くことはないと言われていたからです。

衝突の際の安全対策がなされている訳ではありませんので、座席背面に衝撃吸収クッションなど設置し、少しでも安全を確保したいと考えています。

また、散歩など屋外活動については、園児同士と保育士が手をつなぎ、前・中・後それぞれに保育士が付き添い移動しています。

保育所児童の安全対策は



送迎用園児バス

村道の歩道にガードレールが設置されていませんが、通行車両も少なく、当面の設置は必要ないと思います。が、保育所の存在に気付かずスピードを落とさない車両も見受けられるので、自主規制の看板や支持線、横断歩道等の自主規制看板の設置を行うなど検討します。

また、5月28日に発生した通り魔的な犯行は、なかなか防ぐことができず、これといった対策が見当たらないが、人口の少ない地域で発生する確率は低く、広域的に交通網が整備されて



天気のいい日は散歩します

いる状況下では、まったく発生しないとは言えないものと思います。そのため保育所施設内外の出入り口はもちろんです。外に

出た際は周囲の動きに注意し安全確認を行いながら、保育所運営をしていきたいと考えています。

村政を問い、正す！ 2名の議員が一般質問



改選前 最後の定例会に臨む

加藤政一 議員 (5ページ)

★保育所児童の安全対策はどのように

滋賀県では、保育園児の散歩中に大変痛ましい交通事故が発生し、千葉県でも公園で遊んでいたところに車が突っ込む等の事故や、川崎市の殺傷事件など発生していることから伺います。(ご冥福とお見舞い申し上げます)

◎保育所入所児童のバス送迎や、屋外活動での安全対策は。

岡田孝一 議員 (6ページ)

★高齢化に伴う村としての対策について

人口減少と相まって高齢化率が非常に高く、今後益々増えていくことが想定されます。更に、独り暮らしや高齢者世帯が目立つようになり、日常生活品の買い物等にも支障をきたしている方が、私の周りにもいる実態を看過できない状況から以下の内容を伺います。

- ①地域支え合いボランティア組織の立ち上げの進捗状況は。
- ②運転免許証の返納状況は。
- ③デマンドバスの運行状況と実績は。
- ④日常的な買い物等、新庄市へのアクセスについて村の考えは。

※一般質問とは、議員個人が村の事務執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を村長に求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかをチェックするもの。

一般質問



岡田孝一 議員

高齢化対策を急げ！

村は人口減少と高齢化率が非常に高く今後、益々増加します。

支援体制整備の進捗はどうか。

本年4月現在、高齢者等の施設を除き、村の世帯数1435世帯のうち、独居老人が148世帯、高齢者のみの世帯が122世帯、計298世帯で全体の21%です。
日常生活や買い物等にも支障がある状況は看過できません。
以下4点を伺います。

問1 地域支え合いボランティア組織の立ちあげなど、

問2 全国的に高齢者の運転が起因する事故が多く発

生している状況下、戸沢村の運転免許証の返納状況を伺います。

村長 市町村単位は把握していませんが、新庄警察署管内で平成30年度198件あります。

公共交通網が都市部より発達していないため、村では返納が進んでいない状況です。

問3 デマンドバスの運行状況と実績を伺います。

村長 全体として、昨年の豪雨により、運行本数は減少したものの利用者は300人ほど増加しました。

問4 日常的な買い物等、新庄市へのアクセスは現在陸羽西線しかなく、今後、高齢化が進む中、交通弱者といわれる運転できない高齢世帯に対する交通手段として、村営バスを新庄まで延伸させる方を伺います。

村長 早急に検討します。



北部・中部を走る「ぼんぼ号」



住み慣れた地域で安心して暮らすためには、地域の方々とつながりが大切です。ちょっとした相談ごとができる場や地域との交流、人間関係を築いていくことで、お互いに...
○困ったときは、「助けられたり」「助けたり」
○不安や悩みがあるときは、「話を聞いたり」「話したり」
こうした見守り・支え合い・助け合いを同じ地域に暮らす住民同士が行っていくことが「地域支え合い活動」です。

常任委員会報告



電子黒板による中学生の授業



タブレットを使用した小学生の授業

総務文教常任委員会

6月6日に戸沢小・中学校のICT授業を参観しました。
【ICT教育とはパソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法のことです。】
中学校社会科の授業では電子黒板を活用し、最重要部分を拡大でき、生徒にわかりやすい説明を行っていました。
小学校3年生の授業では算数でタブレットを使用し、わり算の問題を手際よく行っており、回答の正解と不正解が表示され、

理解できるまで計算できます。現在、台数が限られており、小学校か中学校の一方でしか使えないため、今後において全国的な動きとなるよう要望していただきたいとの現場の声がありました。
現代社会における最新情報化を取り入れたICT授業は、これからの教育に必要なものと感じてきました。

総務文教常任委員会
委員長 小野 宏

産業建設常任委員会

6月6日、鞭打野地区の畑地化団地を視察しました。県営の経営体育成基盤整備事業の面整備終了後の昨年秋から、村が農地耕作条件改善事業を活用し、約12haの圃場にパイプハウス22棟、井戸・耕土などを整備したもので、約1億円の事業費となっています。

進作物が作付けされています。同地区は事業完了の令和4年度までに1億7千万円の生産額を目標としており、水稲から高収益作物への転換により農業収益の増加と足腰の強い農業のモデル地区として先導して欲しいと思います。

鞭打野園芸団地組合によって、ハウス内にはミニトマトやパプリカ、露地野菜としてはニラ、ネギ、エゴマ、キュウリなどの重点推

産業建設常任委員会
委員長 富樫 義人



鞭打野メガハウス団地視察

TOZAWAツーリズム協議会 ボランティア下刈り作業



下刈り作業の様子



刈り払い機の使い方を指導中



船で対岸に向かうボランティア参加者

去る6月19日、最上峡景観向上のため、昨年引き続き桜植栽後の下刈り作業を実施しました。

渡部健協議会長のあいさつに始まり、村内の一般協力者の方や議会議員、芭蕉ライン観光(株)従業員と村職員によって小雨の中、上台の対岸となる2箇所作業を行いました。

住民との共同作業を当村に国家公務員初任行政研修期間で来村の3名も研修の一環として体験しました。今後と同様の作業が計画されており、皆さんのご協力をお願いします。

議会要望活動が実を結ぶ



支障木伐採前(角川・最上川合流付近)



支障木伐採後

美しい最上峡を守るために、これまで川に沿って桜の植栽や、支障木の伐採・下刈り作業等、ゴミバスターズの河川清掃へ議会として景観を守る取り組みに参加し実施してきました。

最近では、最上峡沿いに柳が繁茂し桜の木を覆い、眺望が悪いことの話聞いており、3年前より関係機関へ戸沢村議会として要望書を提出してきました。

また、昨年の豪雨水害による蔵岡地区の角間沢川排水対策が不十分である要望のほかに、古口地区の上台・猪ノ鼻地内で河川隣接の農地に流木や土砂の流入があり、

直接の原因になるのか不明であるものの、引き水の際に柳が妨げに起因した点も国へ話をしてみました。

その中で、国は豪雨や台風・地震災害の発生により、防災・減災・国土強靱化のための3ヶ年緊急対策に取り組む事となり、最上川中流域の当村も箇所付けされ、実際に角川合流点最上川左岸において樹木の伐採や土砂の除去などが始まっています。

今後、河川が整備されたのちに桜の植栽を継続し、美しい戸沢村への取り組みを少しずつ行っていります。

最上峡さくら回廊づくり

議会日誌 (4月～6月)

4月

- 2日 生涯学習センター開所式
- 5日 戸沢保育所入所式
- 8日 戸沢小・中学校入学式
- 22日 戸沢村観光物産協会理事会
- 23日 最上川舟下り安全祈願祭
- 24日 殉難者慰霊祭(50回忌)
- 29日 春季消防演習

5月

- 8日 教育懇話会(中公)
- 10日 臨時会(議員全員協議会)
- 12日 第32回東京戸沢会総会
- 15日 農業振興協議会総会
- 16日 農業再生協議会総会
- 18日 第54回観光物産協会総会
- 20日 小・中学校運動会
- 21日 交通安全旗波作戦街頭啓発指導
- 23日 戸沢村青少年育成村民会議評議員会
- 23日 新庄酒田間地域高規格道路整備促進期成同盟会総会
- 24日 最上市町村議会議長会
- 26日 議会運営委員会
- 28日 とざわ旬の市
- 29日 町村議会議長・副議長研修会
- 30日 議員全員協議会

6月

- 31日 町村議会広報研修会
- 31日 共育推進研究所総会
- 31日 戸沢村自衛隊家族会総会
- 3日 岩清水トンネル安全祈願祭
- 5日 6月定例会
- 6日 各常任委員会
- 7日 本会議(最終日)
- 10日 第2回戸沢村環境審議会
- 11日 最上地方町村議会議長会
- 11日 町村議会議長会臨時総会
- 12日 最上広域身体障害者スポーツ大会
- 12日 山形県懇話会令和元年度定期総会・合同例会
- 13日 新庄・湯沢地域間高規格幹線道路建設促進同盟会要望(湯沢河川国道)
- 13日 同(山形河川国道)・(東北地方整備局)
- 14日 同 中央要望
- 18日 議長杯ゲートボール大会
- 19日 とざわグリーンツーリズム下刈
- 20日 最上地域奥羽新幹線整備実現同盟会総会
- 21日 最上梅檀会評議員会
- 24日 最上地区広域連合 議運・全協
- 25日 山形県「森林・林業・林産業活性化促進議員連盟・連絡協議会」定期総会並びに研修会
- 26日 最上地区広域連合6月定例会
- 26日 防犯協会総会 夕方

花嫁さんに乾杯

第33回

結婚記念日/2017年6月10日



宏嗣さん
麻紀さん、笑顔
あふれる明るい家庭を
築いて、いつまでも
未永くお幸せに！

花嫁さんの
ひとこと

同じ戸沢村にいたために、結婚前からよく会っていました。地区は違いますが、息子と散歩に出かけると皆さん親切に話しかけてくれて、楽しく散歩しています。11月に2人目が出産予定で、仕事・子育てに頑張りたいと思います。

〔出身〕 村内（向名高）
〔趣味〕 ショッピング
〔出会い〕 同級生の妹

津谷

進藤 宏嗣さん・麻紀さん
マキ
マヒロ
麻宏くん

議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

9月9日(月)～13日(金)

本議会は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局 ☎72-2113にお問い合わせください。



戸沢村連合老人クラブ主催の輪投げ大会

表紙の言葉

戸沢村連合老人クラブ主催の輪投げ大会が7月6日に開催されました。パーフェクトを出す方もおり、高齢者パワーを十分に発揮され、楽しく交流が図られた1日だったと思います。県大会に出場するチームの皆さんのご健闘をお祈りしています。

編集後記

天候不順が続き、作物への影響が心配されます。この号が発行される頃は、梅雨が明け夏らしい気候になっていて、暑い事をお願いしつつ原稿を書いています。

議会だよりを伝える広報から伝わる広報へと研修を重ね、取り組んできました。

現在のスタッフでこの号を編集し、次号から新スタッフにより、更に伝わる広報に努力されることを願っています。

議会広報常任委員会

委員長 加藤 政一